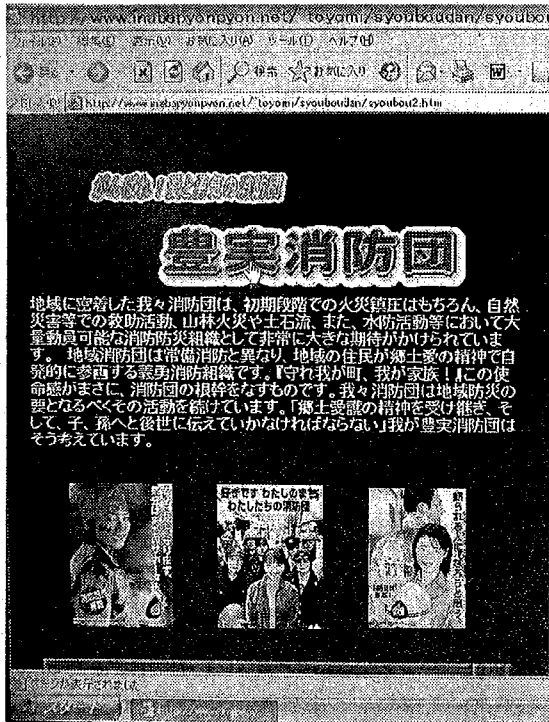


# 消防団の活躍アピール

鳥取市消防団豊実分団(坪田義明分団長、三十七人)が、独自でホームページ(H.P.)を立ち上げた。一守れわが町、わが家族」をモットーに、地域一体となった自衛組織を目指す試みの一つで、活動や訓練の様子などを紹介し、必要性をアピールするのが狙い。分団単位でのホームページ立ち上げは県内では初めてで、全国的にも少ないという。地域の自衛など、幅広い役割が求められる半面、消防団員の減少が深刻化する中、県などは取り組みの効果を期待を寄せている。

## 鳥取・豊実分団が自前のH.P



鳥取市消防団豊実分団のホームページ

豊実分団のホームページは、坪田分団長が提案した。「昔のままのやり方では、いざ消防団は消滅しまう。だけど、地域を守るのは地域の住民。特に若い人にそんな

## 若者の入団期待 増加に

気持ちを持ってほしい」と、団員に限らずだれでも見ることができるようホームページで情報を発信しようと思立った。

坪田分団長が仕事の合間を縫ってこつこつと作成。消防団の目指すところや出初め式、子どもや女性なども参加した地域ぐるみの訓練の様子を写真で紹介している。「まだ完全ではないが、充実

意欲的だ。

地域消防団の果たす役割は火災だけに限らず、風水害や地震などの災害時の対応、国民保護計画による住民避難マニュアルが整備されるなど、今後多岐にわたるさまざまな業務が求められる。分団員数は減少する一方、県消防課によると、四

数は五千二百四十八人。十年前に比べると四百七十人減っている。昔ながらの閉鎖的で保守的というイメージがぬぐい去れず、入団しない若者が増え、高齢化も進んでいる。団員は会社員がほとんどで昼間は家にいないのが現状だという。

同分団のホームページについては、県消防課は「内容次第では、地域で暮らす若者たちに魅力や重要性が伝わる」と大歓迎。「昨年度からPR活動などソフト面でも消防団活性化支援事業として助成を始めている。ホームページの作成などにもこの事業をどんどん活用してほしい」と呼び掛けている。

同分団のホームページアドレスは

## 肥満度高い境港・外江地区

境港市は二日、市内で肥満度の最も高い外江地区を対象とする「はつちらつ健康大学」を三カ月間

# リト

で最も高かった。講義では大学教官や市の体育指導員、栄養士が体脂肪を燃やす運動方

## く対応 で訓練



福祉保健局、鳥取市江津、

性がある患者が発生したとどう想定で、手際良く訓練をこなした。

訓練は、新型インフルエンザやバイオテロなど新たな感染症発生の可能性があることを背景に今年五月、東部福祉保健局に感染症患者移送車が配備されたことに伴い実施。患者移送を迅速、的確に行うため、内部体制の検証、関係機関との連携

子園へ向け出発式で校長と竹内「県予選と一戦にかけ「自分の人

## 鳥西ナイン甲子園へ出発



甲子園に出場する鳥取西高校野球部の出発式が二日、鳥取市東町二丁目